

地域協議会だより

Vol. 30 (2017 年 12 月 14 日発行)

長野県農業農村多面的機能発揮促進協議会
長野市大字南長野字宮東 452-1
長野県土地改良会館別館 3 階
会 長 赤羽 昭彦

Y 師走の候

今年もいよいよ残りわずかとなってしまいましたが、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、今回の協議会だよりでは、シンポジウム・技術研修会の様子と北福地の環境をよくする会(伊那市)の活動組織のご紹介をします。

Y シンポジウム



11月20日(月曜日)塩尻市、長野県総合教育センターにおいて、長野県農業農村多面的機能発揮シンポジウム「我が郷の土・水・人の繋がりを考える集い」が開催され、県下各地より活動組織に携わる 260 名余りの皆さまの参加がありました。

シンポジウムは、始めに、主催者として長野県農業農村多面的機能発揮促進協議会の赤羽昭彦会長があいさつし、「本日のシンポジウムが、多面的機能

支払交付金の制度を通して地域の持つ課題や解決策などを共有し、それぞれの地域活動の発展方向を探っていくきっかけ作りとなる有意義な集まりになることを期待します。」と述べました。

次に、来賓の北原富裕県農政部長から、「多面的機能支払事業に取り組む参加者に対する敬意と感謝、また次期『食と農業農村振興計画』において多面的機能支払事業の取組を主要な施策の一つとして、それぞれの地域での活動に向け、より一層、充実したものとなるよう支援する。」ことなどの祝辞を頂きました。





第 1 部の基調講演では、一般社団法人ロハス・ビジネス・アライアンス共同代表の大和田順子氏が「農業遺産や地域の資源を活かした持続可能な地域創生」と題して、ご本人自ら全国各地の農山村に通い、有機農業や生物多様性をテーマに、企業と地域の連携による共有価値の創造(CSV)手法を通じ、地域の課題解決に取り組まれた事例について紹介されました。

続く第 2 部の事例発表では、県内 3 組織の代表の皆様に組織の活動状況、課題や今後の取組について発表していただきました。

取組事例 1



〔中山間地域を元気にする〕
草尾農地・水・環境保全向上対策活動組合(東筑摩郡生坂村)
代 表 竹内 勇氏

取組事例 2



〔地域コミュニティを活発する〕
上黒田上段地域活動組織
(飯田市)
代 表 岩崎守倫氏

取組事例 3



〔組織の広域化を進める〕
松川村すずむしの里保全組織委員会(北安曇郡松川村)
事務局 青木秀之氏



続いて研究発表では、長野県多面的機能支払交付金の「今後の使い方」を考えると題して、信州大学農学部助教内川義行氏より講演があり、「多面的機能支払交付金は、地形など地域の特性を踏まえて、これまでの公共事業で出来なかった末端施設・農地まわりへ、何を！どのような視点で！投資すべきか！検討が重要である」と述べられました。

最後に第 3 部テーマの別意見交換会は、3 会場に分かれて「中山間地域の活動の課題と展望」、「地域活動を支える取組の課題と展望」、「取組活動の効率化を図るための広域組織化の課題と展望」について活動組織が直面している課題などの意見交換会が実施され、盛会のうちに閉会されました。

なお、今回のシンポジウムの内容報告については、次回号に掲載予定です。

Y 第2回技術研修会(水路の目地補修)

11月15日に飯山会場(木島地区活性化センター)及び16日塩尻会場(長野県総合教育センター 午前・午後)の2会場で水路の目地補修の技術研修会を行い、県内各地より、述べ102活動組織214名の皆様にご参加いただきました。

【各研修会場での様子】



午 前

午 後

11月15日 飯山会場
(木島地区活性化センター)

11月16日 塩尻会場
(長野県総合教育センター)

講義内容は、関東農政局土地改良技術事務所保全課坂本良子係長を講師としてお迎えし、「コンクリート開水路の変状と簡易補修」と「資源向上活動(長寿命化)施工事例と留意事項」の2つの講義が行われた後、公募で参加いただいた3社の製品を各会場近くの現場水路でそれぞれ実演・指導していただきました。

講義の中では、「コンクリート開水路の変状と簡易補修」について、主として目地の補修を適正に施工する上での留意点について説明がありました。

補修作業にあたっての注意点

- ・補修材料には様々な化学物質含まれているので、補修時にはゴム手袋を使うなど**直接肌に触れないよう注意**する。また、引火性の成分を含むものもあるので、火気の取扱いには注意が必要。
- ・ディスクグラインダーの作業にはコンクリート片が飛び散るため、**保護メガネと防塵マスクを着用**ください。また、軍手を使用しないで下さい。布製の軍手は、刃物や材料に引っかかりやすく、機械に手を巻き込まれてしまうことがあるため、**ゴム手袋などを使用**してください。なお、砥石の交換と試運転は、「**自由研削砥石特別教育**」講習を受講し、講習修了証を保有する者が行うこととされている。

補修の共通事項

1. 清 掃

- ①清掃を入念にし、**表面の付着物及び劣化したコンクリート分を除去。**
- ②付着物があると**接着力が弱くなり、この層から剥がれやすくなる。**(準備段階に力を入れる)

2. 乾 燥(作業前日は、通水しない。雨が降っているときは作業しない。)

- ①塗布(プライマー等)する前に既設水路を**乾燥**させる。
- ②バーナーで乾燥させる場合、水分を飛ばすだけで、**既設水路は加熱しない。**
- ③晴れている日の午前午後で作業を分けるなどの工夫が必要。

3. 材 料

- ①ホームセンターで販売されているものの多くは**建築用**である。
- ②水路(コンクリート)に**適した材料を選定**する

また、「資源向上活動(長寿命化)施工事例と留意事項」では、資源向上活動(長寿命化)によって地域の課題を解決した事例の紹介がありました。

講義終了後、現地において各社の補修材料や充填工法・被覆工法による目地補修の実演と体験をしていただきました。

【水路目地補修実演の様子】

トライアン株式会社



株式会社 シンコーモールド



株式会社 ホクエツ信越



Y 活動組織紹介

今回は、伊那市の北福地の環境をよくする会を紹介します。

1 伊那市の取り組み状況

伊那市の多面的機能支払交付金の取り組み状況は、31 組織で約 1,700ha の農地を対象に活動を行っています。

2 北福地の環境をよくする会

伊那市北福地の環境をよくする会は、天竜川左岸の伊那市南東部の水田約 115ha を範囲に、農地維持活動、共同活動及び長寿命化活動を行っています。

活動は北福地区が母体となって活動組織を立上げ、平成 19 年度から交付金を活用し、区民一丸となって農村地域の保全活動に取り組んでいます。

施設の長寿命化は、水路更新、農道補修に加え、ため池の補修に取り組んでおり、脆弱化したため池機能の回復を図り、交付金を有効に活用しています。

【地区データ】

- ・ 取組面積 約 115ha（水田）
- ・ 対象施設 開水路 42.3km
農道 6.8km
ため池 6 箇所
- ・ 交付金 約 890 万円
（農地維持、共同、長寿命化）

長大法面を安全第一に共同で草刈作業を実施



水槽の点検、補修を自主施工で実施	老朽化した水路を直営施工で補修
	

また、農村環境整備も盛んで、花の植栽による景観形成に加え蛍の保全にも取り組み、地区内 9 箇所で行った調査を実施しており、調査には組織役員のほか、児童や保護者も参加し保全活動の輪を広げています。

	
農道沿線に花の植栽で景観形成	毎年 2 回の広報誌を発行し情報共有

さらに、構成員全戸に配布する「よくする会通信」を毎年 2 回発行し、組織の活動を周知し、活動の連帯感の醸成を図っています。

北福地区でも他地区同様に農業活動や農村活動に対する意識の低下が懸念されるところですが、区民全体で北福地を守りつなげて行こうとする、正しく自らの手で我が地域をよくするという積極的な意識で活動を続けています。

地域協議会だより

取材にご協力をいただいた、池田会長、吉澤前会長や役員の皆様、伊那市役所の板橋さんには感謝申し上げます。

また、取材の日程調整など上伊那地域振興局の野口さんにお世話になりました。



事務局から

今回は、シンポジウム及び技術研修会の様子をご報告しました。両会場ともに大勢の皆様にご参加いただき有難うございました。

今後とも各地域の様々な事例を皆様に紹介してまいりますので、よろしくお願いいたします。

■問い合わせ先

長野県農業農村多面的機能発揮促進協議会

(担当：田中・白石)

TEL 026-219-6351 FAX 026-219-6352

E メール nagano-tamenteki@wonder.ocn.ne.jp

URL <http://www.nagano-nouchimizu.net/>